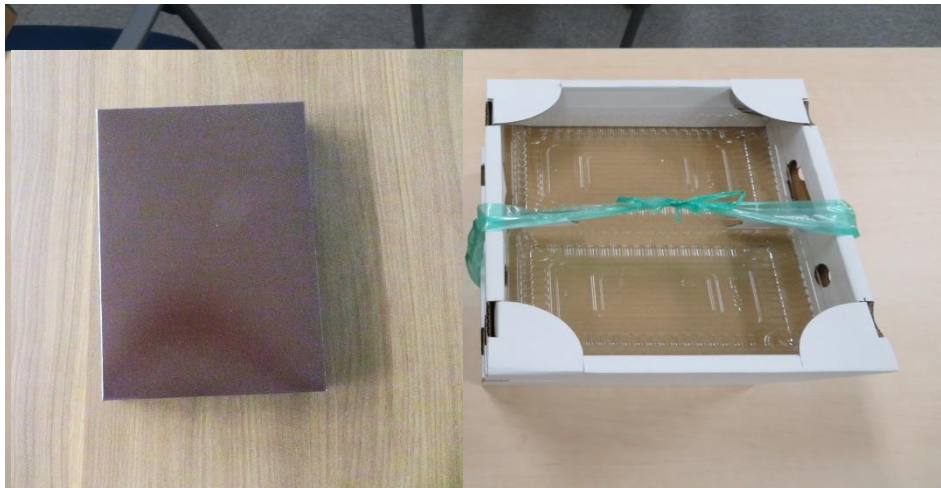


アビリンピック熊本大会2026

せいひんばっきんぐじっし てびき 製品パッキング実施の手引き

きょうぎかだい だんぼーる せいひん くみだて
競技課題1：段ボール製品の組立

きょうぎかだい かしほこ くみだて
競技課題2：菓子箱の組立



ひょうかきじゅん ★評価基準

はこ できほえ だん せいひん はこ くみ ひも むす
・箱の出来栄え（段ボール製品は3箱を1組として紐で結びます。）

すうりょう
・数量

きょうぎ れんしゅう きょうぎ おこないます
※競技ごとに練習をしてから競技を行います。

てびき さんこうしりょう おりかた かくじくふう けっごう
※この手引きは参考資料です、折り方の順番は各自工夫されて結構です。

げんぞく かんせいひん ひょうかたいしょう
※原則として完成品を評価対象とします。

ひも むす かた じゅう ひも ちゅうおう ようい と むす かた
※紐の結び方は自由です。紐が中央で容易に解くことができる結び方となっているか。

競技課題1：段ボール製品の組み立て（15分）

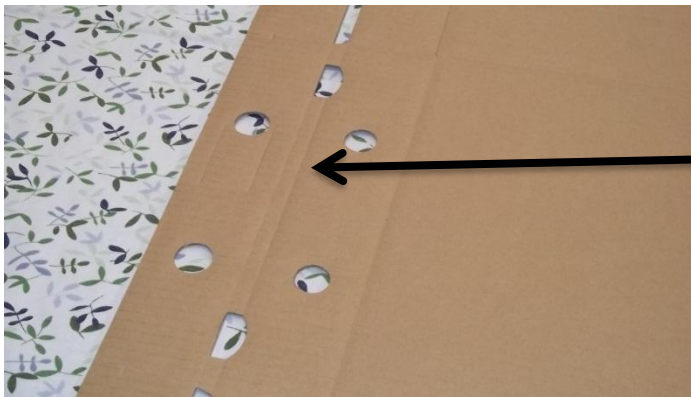
※この競技は段ボール製品のセットを作製する競技です、1つの箱にプラスチックパッケージを組み込み、商品を完成させ、3箱作成後、3箱を紐で結びます。作製の早さと、出来栄を競います。

※注意事項

・必ず1セット完成させてから次の製品に移って下さい。（段ボール、プラスチックケース×3箱+紐で結ぶ）

※準備してあるもの

・段ボール箱用台紙、プラスチックケース

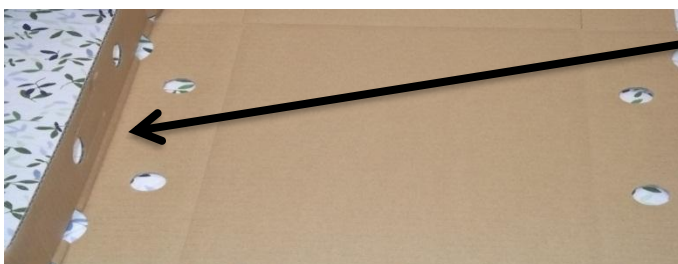


最初の状態

細い幅の折り目に注目



写真のように一番外側の折り目を立てます。



矢印部分（細い幅の折り目の内側）を折ります。



2カ所を折った状態



写真のように折り込んでいきます。



細い幅の部分はの部分が枠になります。



右側も同様に折ります。



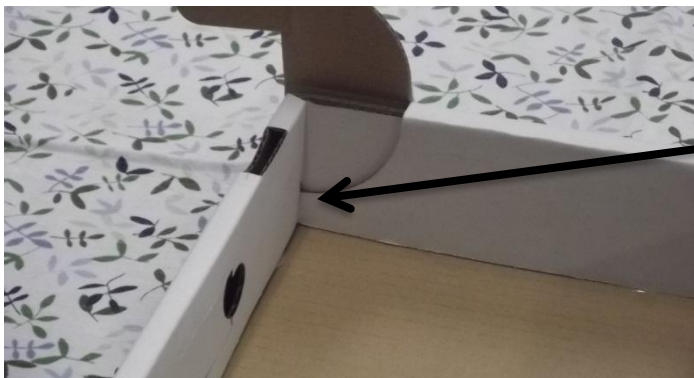
写真のように耳の部分^{みみ}を折り込みます（2枚かさね）。



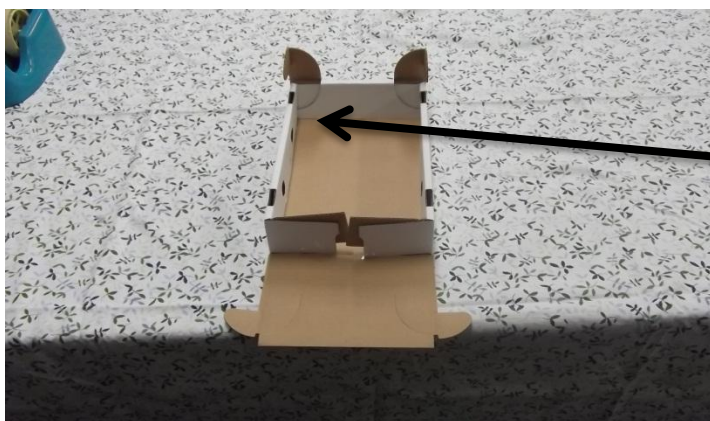
上も同様に折り込みます。



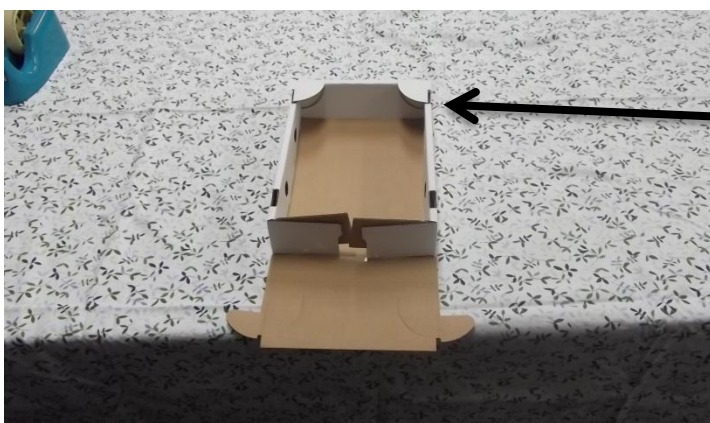
写真のように上側^{うわがわ}を折り込みます。



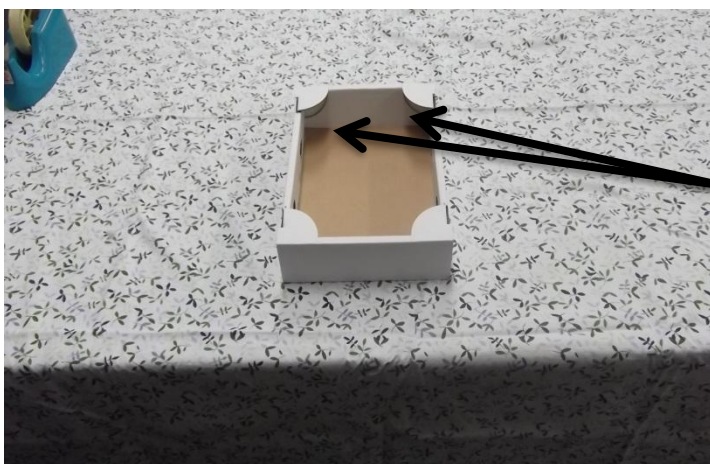
※ポイント：端^{はし}をはずれないように4隅^{4すみ}にはめ込みます。



りょうがわ はめこんだじょうたい
両側をはめ込んだ状態。



うわがわ みみ ぶぶん はめこみます
上側の耳の部分をはめ込みます。



はし おなじ くみこみます
4つの端も同じように組み込みます。

すみ はめこむのを忘れず！



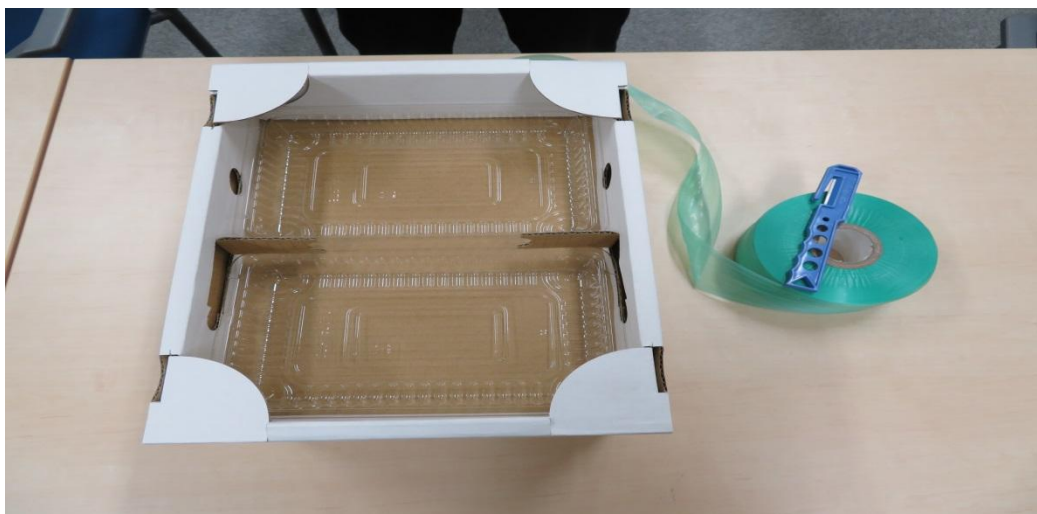
ぶらすていっくけーすを入れるために仕
プラスチックケースを出します。



ぶらすていっくけーす いちまい を一枚ずつ入れて
はこかんせい
1箱完成です。

ちゅうい
注意！！ : ぶらすていっくけーす で手を切らないように ちゅうい 注意して
ください
下さい。

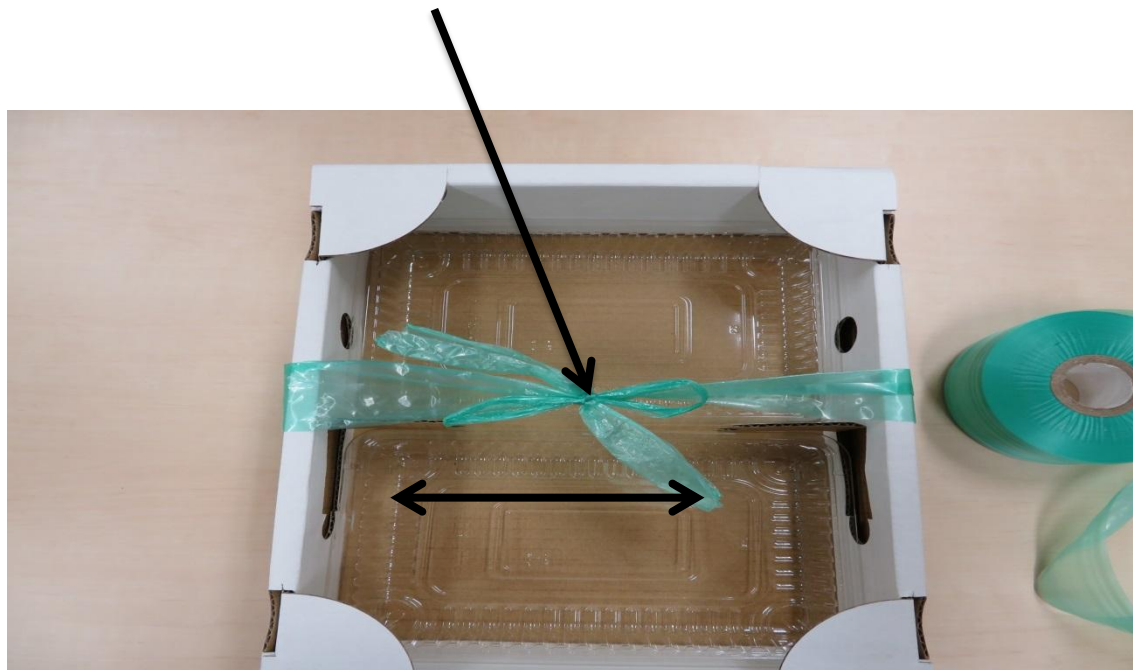
はこさくせい
3箱作成します。



はこ つ あ ちゅうおうぶぶん ひも むす
**3箱を積み上げ、中央部分に紐がくるように結び、カッター
(ハサミ) できります。**



むすめながは、はこはばをこえないようにします。



※1セット完成となります。

※紐の結び方は自由です（紐は中央、容易に解ける結び方）。

競技課題2：菓子箱の組み立て（20分）

※この競技は菓子箱のセットを作製する競技です、3つの箱を作製し、商品を完成させます。作製の早さと、出来栄を競います。

※ 注意事項

・必ず1セット完成させてから次の製品に移ってください。（下箱、台紙、小箱、上箱）

※準備してあるもの。

・下箱・台紙・上箱・小箱（紙ナイフ・ナイフ袋）

課程1：下箱を作製します。

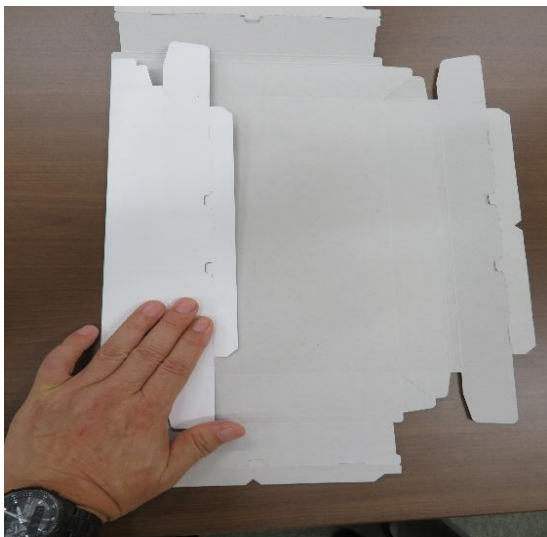
最初の状態（表裏を間違わないように）

※ 折り目を最初につけておくと後の作業がやりやすくなります。

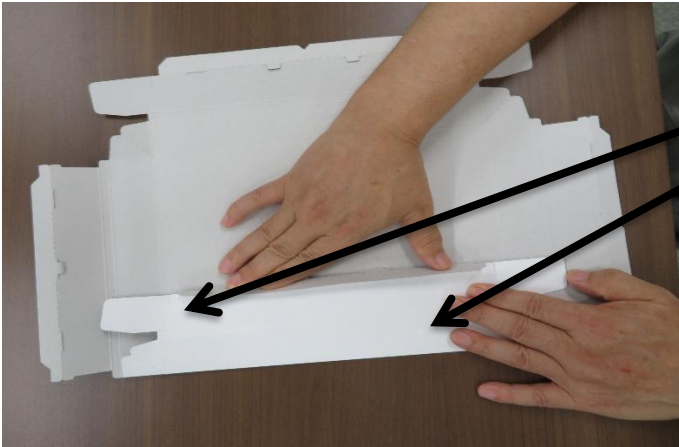
左はしには折り目がたてに4ヶ所、横に4ヶ所、斜めに2ヶ所あります。



一番内側折り目を折ります。

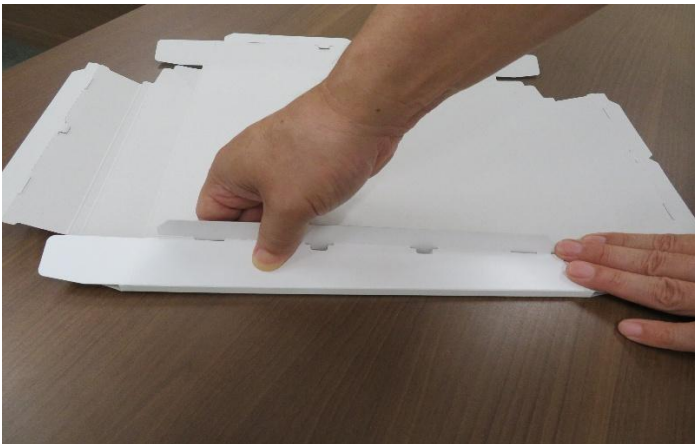


いちどひらいてうちがわにほんめ・ほんめありめどうまへありま
一度開いて内側から2番目・3番目の折り目も同様に折ります。



ひだりはしよこありめあり
左端横の折り目を折ります。

いちほんそとがわありめあり
一番外側の折り目を折ります。

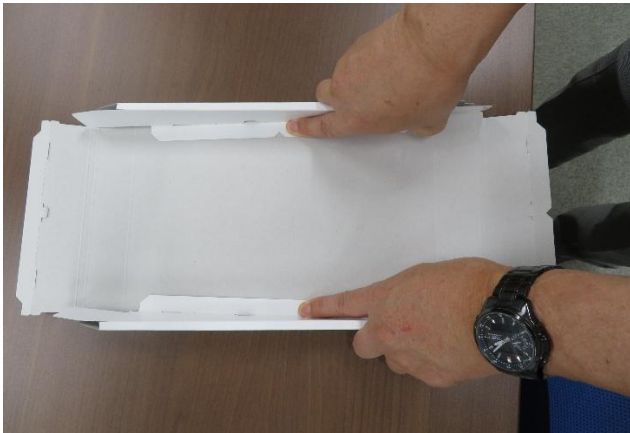


いちほんうちがわありめあり
一番内側の折り目を折りますと7ミリほどの厚みがあります。

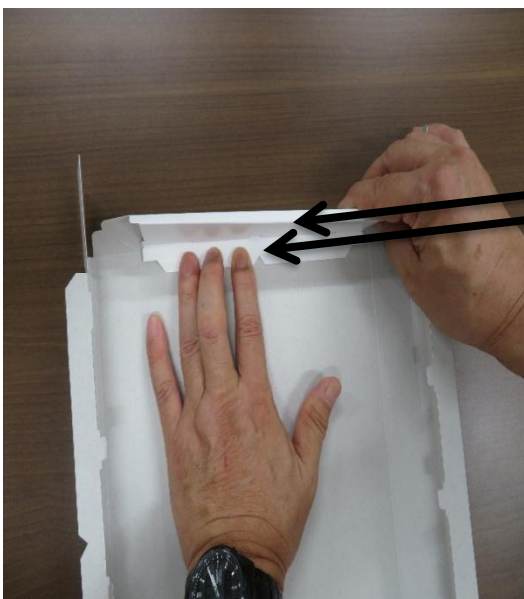


7ミリの厚みのある外側となります。

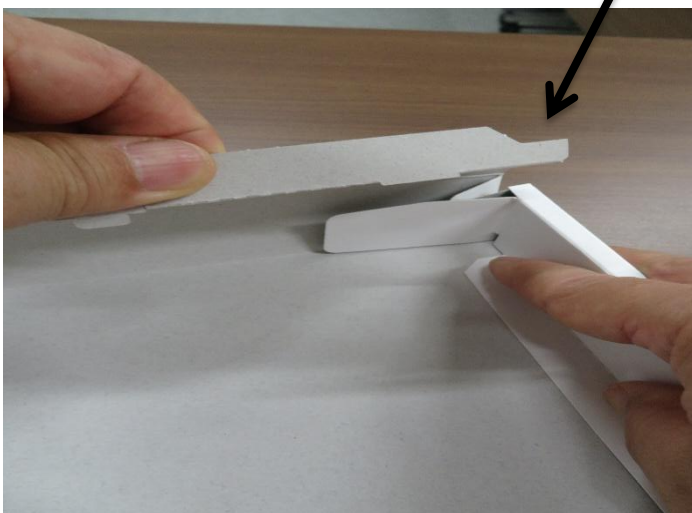
右側も同様に折り目をつけ、厚みのある外側の状態です。



上の部分にも折り目が4つありますので、折り目をつけます。横と同様に折ります。
下の部分も同様に折ります。



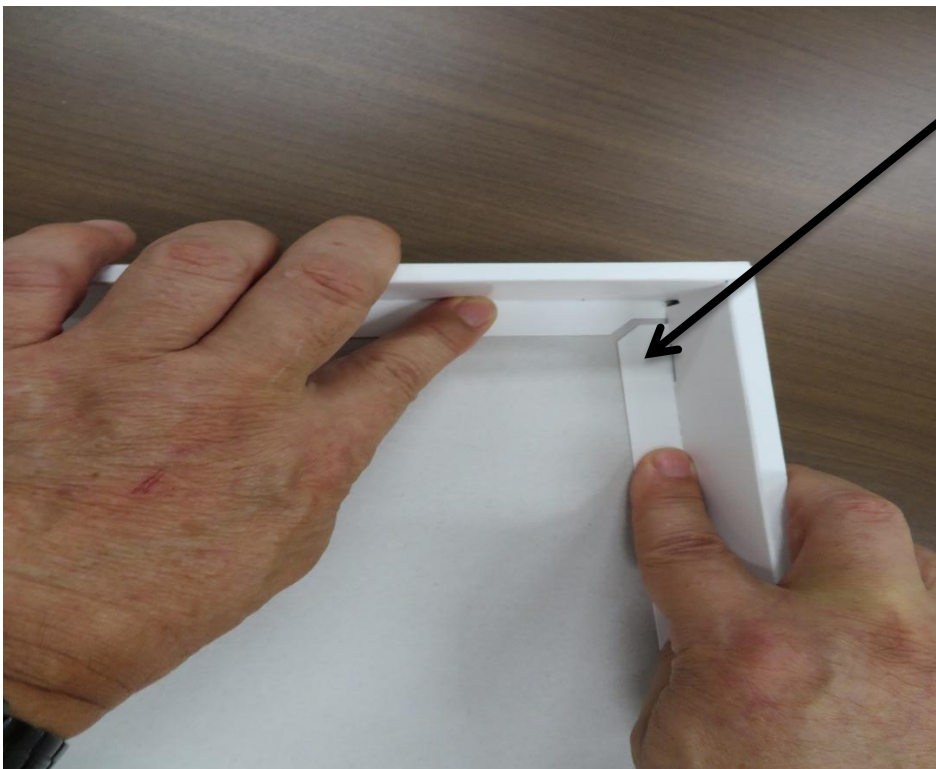
上の部分に4ヶ所、下の部分に4ヶ所折り目がありますので、折り目をつけます。
左の写真のように折り目をつけます。



箱を組み立てていきます。縦（左右）の部分から折り込んでいきます。上の折り目を横の折り目に巻き込むように組み込みます

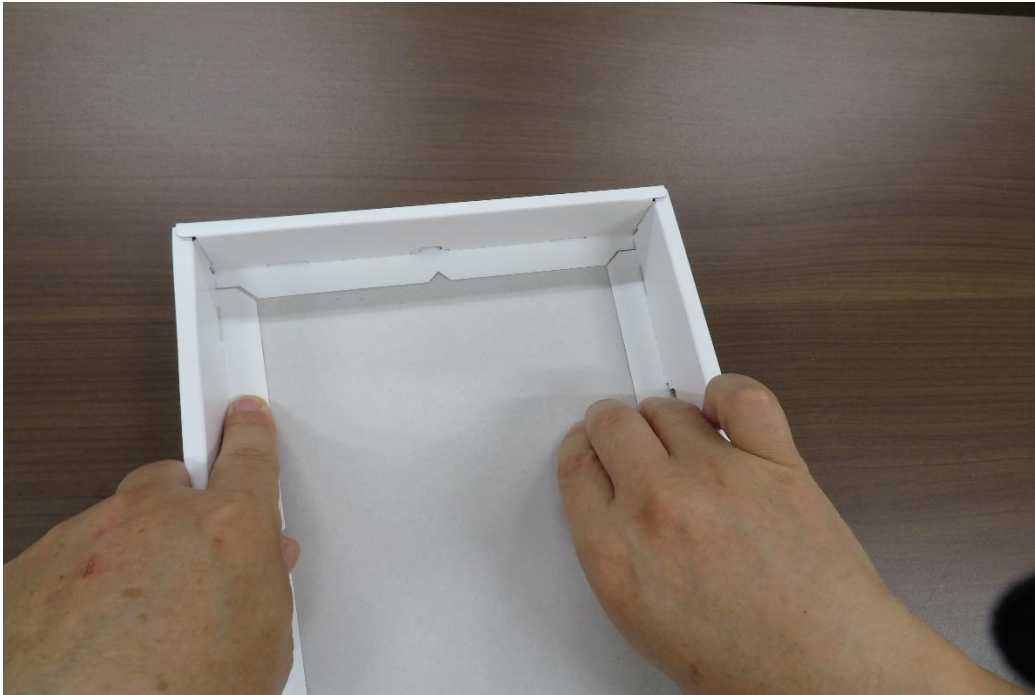


四隅がきちんと折れているか確認してください。



きちんと折れているか。

※4つの隅すみに同じ作業おこなを行いますさぎょう。



四隅よすみの作業さぎょうが終了しゅうりょうし、台紙だいしを入いれます。

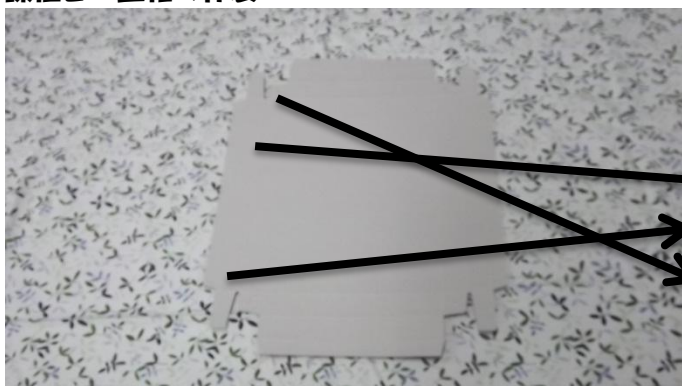


さぎょう しゅうりょう じょうたい
作業が終了した状態



したほこ かんせい
※下箱の完成です。

かてい うえぼこ さくせい
課程2：上箱の作製



さいしょのじょうたい (おてつうもまちがわぬように)
※**おりめ**を**さいしょ**につけておくと**あと**の**さぎょう**がやりやすくなります。

ひだり **はし**には**おりめ**がたてに**3カ所**
よこに**じょうげ**2ヶ所

ななめに**じょうげ**に**2カ所**あります。



いちばんうちがわ **おりめ** **おります**。
一番内側の折り目を折ります。



いちどひらいてうちがわから**2ばんめ**の**おりめ**も**どうよう**に**お**ります。
一度開いて内側から2番目の折り目も同様に折ります。



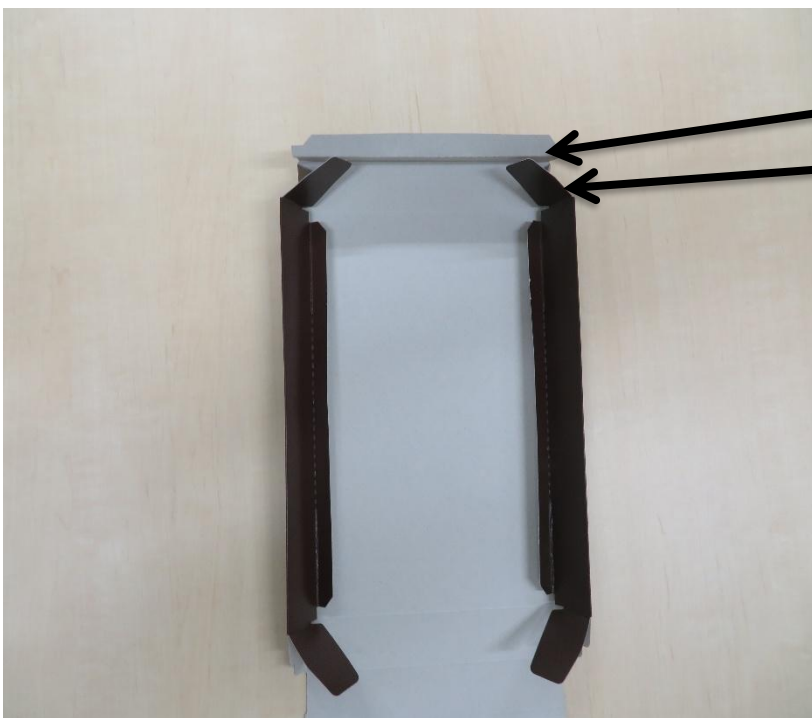
一番外側の**おりめ**を**お**ります。
一番外側の折り目を折ります。



横側の折り目の耳部分も内側に折り込んで、
横側を立てます（真ん中の折り目が箱の枠になります）



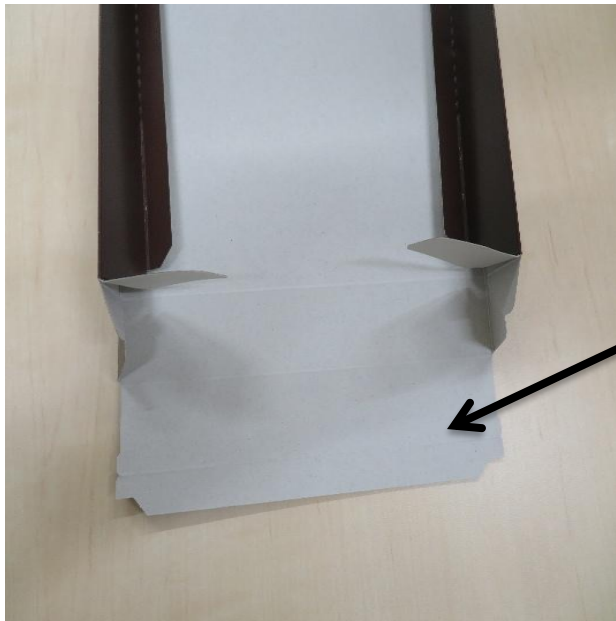
右側も同様に作製します。



写真のように上側も折り目をつけます
※ポイント 矢印部分は内側に折り目をつけておきます。



上の折り目を横の折り目に巻き込む用に巻き込むように組み込みます。



下も同様に折り目をつけて組み込みます。

内側に折り込む



折り込みが終わった状態

上箱の完成です。

こぼこ 小箱に^{かみ}いれる紙^{さくせい}ナイフを作成します。



^{かみ}紙ナイフは、^{おさ}同じ^{ほうこう}方向に重ならないように2ついれます。



紙ナイフを小箱にいきます。紙ナイフがみえる部分を右にします。



金色の小箱を10個作製します。(先に作っても後に作っても結構です)

小箱、下箱、上箱が揃った状態



釜色の箱を詰めていきます。



下箱に10個の小箱を詰めます。
※向きに注意して下さい。



紙^{かみ}マークが上^{うえ}に来^{くる}るようにします。



うわはこ し かんせい
※上箱を閉めて完成です。

